

教員研修特別演習（5月25日実施） 授業後の感想

長期研修生対象 提出40名

熱さ・熱量（赤） 心・感謝（青） ひらき・つなぎ・つむぐ（緑） 決意は、太字で下線

熱量を持って心を持って対応していく、接していく・生きていくことの大切さを改めて感じました。教育の土台は心。人として大事なものは心だと考えているので、お話を聞いてよかったです。ありがとうございました。

今日はありがとうございました。先生の熱さに釘付けでした。先生のお話を聞いて、先生はご自分の人生自体をみんなに聞かせることで、聞き手の生きた教材にしているところがすばらしいと思いました。私もひらき、つなぎ、つむぐとても共感しました。自分の指導に生かしていきたいです。

とても情熱を感じることでできた講義でした。やっぱりいろいろと考えますが、教師で大切なのは心なのかなと感じました。「人間性は弱者への態度に現れる」という言葉、非常に共感できますし、大切なことだと思いました。最近どうしても教員同士がひそひそと陰口を言ったりと、そんな部分が非常に気になることが多いです。みんなが笑顔で働けることができれば、子どもたちも笑顔になるのになあと感じます。先生の情熱で心に火がつけました。諦めずにがんばります。

業務改善のお話の中で「できることをやる中に実りがある」という言葉がとても残りました。本日は一貫して松井先生が心から信じていらっしゃることを教えていただいたように思います。私は学ぶほど「変えなきゃ」と一人で勝手に焦り、現状への不満が大きくなってしまいます。でも、松井先生は子どものことも、大人のことも、学校も地域も、「ないもの」ではなく「既にあるもの」を見て大切にされていらっしゃるよう感じました。冒頭に書いた言葉はそれを象徴するものでした。祝辞にあったご自身の過去、中華料理の会で教え子からの一言、小中一貫校でのご実践、地域の方々、一つひとつのエピソードから「できたこと」や「あるもの」を積み重ねてこられた松井先生の姿勢から、本日は多くを学びました。これまでの自分の経験や教えていただいたこと、ここまでの学びの中での実りをしっかり確認をして、今後の研究に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

とても熱い先生だとわかりました。また個別でお話したいと思いました。

自分なりの強い信念を持って取り組むことは大切だと思いました。最初は受け入れられなくてもわかりあえるときが来るかもしれないとも思いました。教員同士がまず互いを尊重し協力することで子どもへの指導、より良い学校づくりにつながっていくのだと感じました。今後の研究、在籍校においても人とのつながり思いを大切にしていきたいと思います。

お話が大変興味深くおもしろかったです。先生の経験から語られるお話は、今後現場に戻ってから子どもたちに向き合うときの参考にしたいと思いました。ありがとうございました。

松井先生の人としての生き方、教員としての生き方に触れエネルギーをいただきました。教員ってやっぱりいいなあと感じる時間になりました。私も先生に負けない熱い心と気持ちで教員(研究)に力をそそいでいきます。

松井先生の熱いお話から「学校現場に戻ったらこうしたい、こうしてみよう」とたくさん思うことができました。同僚の先生方にも、児童にも、保護者にも、家族にも、自分の思いをしっかりと伝え、自分に関わってくれる人たちだからこそ大切にしたいと思います。教師としてというより、人として魅力のある愛情あふれる人でありたいと思いますが、そのためには今年のこの一年でより見聞を広げ人との出会いを大切にしていきたいと改めて感じました。

あっという間の講義でたくさん先生のお話から学ぶことができました。先生の言葉に引き込まれるのは、責任を持ってお話しされているからだと思います。ありがとうございました。

松井先生の教職が大好きな気持ちや、子どもたちに対する熱い思いが伝わってきました。子どもたちの担任がやりたくて教員になったと思っている人も多いですが、(私を含めて)松井先生の話聞いて、学校全体の担任になるということがその集大成なのかもしれないと感じた。教員としての自分に後輩が増えてくる今、学校全体を見渡せる視野も大切にしていかななくてはいけないと改めて感じた。

先生と一緒に仕事をしてみたかったなあと思いました。最近「働き方改革」という言葉が独り歩きして「仕事の効率化、簡略化」が増えてきています。もちろんその流れはライフスタイルの変化もあるので賛成ではあるのですが、職員の熱量も簡略、省エネになってきているように感じ悲しく思っていました。先生のお話を聞いていて情熱を大切にしたいと元気になりました。ありがとうございました。

熱い思いから出てくる言葉が大切だと感じました。教師は言葉を持つべきだと考えています。その時その場でその子に必要なものを伝えられるよう学んでいきたいと思います。ありがとうございました。

松井先生の熱いパワーが子どもたちに乗り移りきっと充実した学校生活を送っていたと思います。ぜひ不登校の子エネルギーが弱っている子どもたちにどのように接し導いていたのかをお聞きしたいです。私も青春時代に先生に担任してほしかったです。「誠意はスピード」という言葉を心に刻み子どもや保護者に向き合っていきます。

とても楽しい講義でした。写真や色紙を拝見させていただき、先生の人柄が出てとてもすてきな先生だったと思います。感謝する心が生徒たちや職員の方々に伝わったのだと思います。私も本当にたくさんの方々にお世話になっています。このことを感謝し周りに返していきたいと思います。とにかく一生懸命に全然上手にできなくて落ち込む日々が多いのですが、がんばって挑戦していきたいと思いました。ありがとうございました。先生の言葉で元気になりました。

松井先生の思いや熱量に心を動かされました。「仕事の遠近法」実践したいと思います。コミュニティスクールでは、教員がリスpektする気持ちが大事だという話が印象的でした。やりながら考えるのも大切だと思いました。感謝する心、日々大切にしたいです。

そもそもなぜ教師という仕事を選んだのかということを確認することができました。人と関わり合うことの面白さ、苦しさ、楽しさ、価値を伝えたいともう一度原点に戻った気持ちです。クラスの担任も学校の校長も、そのコミュニティをどれだけいいものにしたいのかどんな人になりたいのか、どんな思いを持って伝えたいのかという思いは変わらないのだと思いました。ありがとうございました。

奥様からつながれたメッセージ、しっかり受け取りました。これからの人生のそばに置いておきたい言葉でした。実が実ってもそれは本当に身なのかという言葉が響きました。本物を見られる教員でありたい、本物を育てられる教育でありたいと思います。

感謝の気持ちを持って人と接する、周りに良いことを開くことの大切さを学びました。私がこれまで最も大切にしてきたことは人とのつながりです。人を大切にすることを子どもにも伝えてきました。学級でもそうした集団づくりを行ってきました。学校経営も同じだよと教えていただいたような気がしました。何を大切にしたいかを持っていると方策が決まるのだと感じました。

本日は熱い思いをお話しいただきありがとうございました。日々の業務の忙しさや社会から、ブラック企業と言われる中で少しずつ忘れてしまっていた教員としての誇りを思い出しました。先生のお言葉の中で生徒にしっかりと向き合い自分の言葉で伝えることが大切というお話がありとても心に残りました。早く現場に戻りたくなくなりました。先生のような生徒に愛される教員になることを目標にし、教員としての誇りを持ってがんばっていきたいです。

先生の熱さとても伝わりました。「弱者を大切にできない人」本当にたくさんいると思います。本校は通級、情緒、知的で8クラス通常19クラスあります。でも本当にみんながやさしく児童に接してくれています。私は教務主任と情緒のクラスを経験し今長期研修に来ていますが、先生の視点を大切にして、これから働きたいと思いました。私も先生の熱量に負けない教師でありたいと思います。ありがとうございました。

やはり人を動かすのは熱量。理論や方法だけでは人は動かない。熱い思いを持ちながらも自分自身が理論を持って、目指すべき目標をぶれずに姿で語ることが大切だと改めて感じました。今日だけだと時間が足りないのもっと詳しく聞く機会がほしいと思いました。

先生の熱い気持ちが伝わりました。先生が卒業式の動画を見ながら目頭を押さえている様子を見て、本当にすてきな教員生活だったのだと思いました。人を思い大切にすることを一年後職場に持ち帰りたいと思います。

私は二俣小学校在籍で、昨年度から小中一貫校となりました。校舎が違うので中学生とはオンラインでの交流が中心となっています。なかなかうまく回っているとは言えず、去年教務主任としてだいぶ悩みました。昨年度、先生のお話を伺いたかったと心から思いました。ビジョンと熱い思いをもって取り組めば、もっともっとうまくいくとは思っているので、在籍しているうちに今日の話が学校に伝えたいと思いました。

校長先生によってチーム学校の雰囲気が大きく変わると思います。校長先生が何をしているのかがわからないと信頼もできないし、不満も募ると感じています。思いと熱と行動力を維持した管理職の先生のもとで働きたいですし、私自身も経験の浅い先生方への関わり方を見直していきたいと思いました。ありがとうございました。

阿蘇中の開校と阿蘇米本学園の開校に関わり、3月に第1期の卒業生を出しました。4月に研修をしていただいた松井先生からのアドバイスのおかげで無事に1年目を終えられたと思います。松井先生の卒業式での最後の授業本当にすてきでした。それは卒業生だけでなく教師の仲間のみならずも思っていることだと思います。忙しさのあまり忘れてしまう「熱さ」を大切にしていこうと感じました。1年生と9年生の関わり合う姿、その良さもっ

といろんな人に知ってほしいです。ありがとうございました。

先生のお話に引き込まれあっという間の90分でした。自己開示ができること、教員にとって大切な力だと思いました。先生も人であること、心が動くこと、失敗もすること、いつも成長したいと思っていること、、、どのような立場になったとしても、子どもに向き合って伝えていける教員でありたいと感じました。一人でも「ついていきたい」と思える魅力ある教員になれるよう精進していきたいと思います。

学校において、どの立場であっても、自分の考えを伝えること、子どもでも大人でも相手を尊重して関係をつくっていくことを大切にしていきたい。自分がこれから研究を進めていく上でも、在籍校の子どもや教員、家庭のことを考えて始めたテーマを忘れないようにしたいと感じた。今日は、ありがとうございました。

特別活動の授業を受講していますが、今日はテーマというよりも、松井先生ご自身のことをたくさん知れるスペシャルで、とても楽しく、そして教師・人間として深く考えたり、今後生きる充実した時間となりました。「いろは de 歴史」の「ん」が、「んん満足～」の表現に、松井先生の頑張りや達成感が表れていて、おもしろいと思いました。

自分が持っているものを拓くことが大切というのが心に残りました。正直、みんな忙しいだろうし、それぞれの考えややり方があるだろうから、自分のことを聞いてもらうなんて申し訳ないと思っているところもありました。でも聞くことで、少しずつ自分の考えを伝えていくことも大切なんだと思いました。「多くの人が当事者になれば理解者が増える」たくさんの人を仲間にしていくということなのだろうと思いました。感謝の気持ちを持つことで理解者が増えるのだろうと思いました感謝の気持ちで研究も乗り切りたいです。ありがとうございました。

教師ではなく、人としてのあり方を学んだ。先生の話聞いて、自分の生き方を深く考えることができた。自分が人生で実現したいことはなんなのか、そのためにどう行動するのか、具体的に考えて実践していきたいと思う。今日決めたこと。来年職員会議で子どもに提案させる。

松井先生の一つ一つの正直な飾らない言葉が心に刺さりました。自分の教育活動を振り返りながら拝聴していました。先生のように心を開いて子どもたちに接することができていたのかなと、正直自信がないのですが、これまで生徒や保護者からもらったありがたい言葉も思い出し、自分の研究をしっかりとがんばろうと思いました。一年間貴重な時間を与えてくださったさまざまな方に感謝の気持ちを持ち、必ず恩返しができるように、子どもたちや先生方に還元していきたいです。

長期研修生としてもう一度自分の人格形成にも努めていきたいと強く感じました。まだまだ私は誰かの顔色うかがったり、誰かの言葉に左右されて生きています。教員であり、一人間としてせっかく時間があるので、研鑽に励んでいこうと思います。貴重な時間をどうもありがとうございました。

先生の今まで生きてきた中で培った人生観というものが、この時間だけでも十分に伝わりました。今まで関わってきた人たちのことを思い出し、どう生きてきたかを振り返る時間となりました。また、先生のお話で、今の自分がたくさんの人たちのおかげで長研に出させてもらっていること、またそれを来年現場に戻り多くの人につないでいきたいということを改めて感じました。先生の人を大切に生きてきた今までの経験や細かい考え方、方法ま

で大変勉強になりました。私も若い時に部活に熱かった時代を思い出しました。本日はありがとうございました。

先生の熱さをしっかりと感じる事ができました教育愛がすべての土台になることは私も同じ考えです。いつも真面目に真剣に子どものことを考えてきたことがよく伝わりました。初めて会った私に伝わったということは、毎日一緒にいた子どもには必ず伝わっていたのだと思います。小中一貫の良さを知ることができました。小・中のお互いの良さを生かして教育活動に取り組むことは、何よりも子どもたちにとって良いことだと思います。久しぶりに卒業生たちに会いたくなりました。ありがとうございました。

本当に楽しくあつという間の一時間半でした。先生は「勢い」などとおっしゃっていらっしゃいましたが、すべて本気の思いを持って実践をされた経験の裏付けがあつてのこのお話だと思うので、もっと先生の話聞いて学びたいと思いました。 教員としてはもちろん、人として先生のような同僚・先輩・上司と一緒に働けたら幸せだろうなと思いました。そういう先生の特性を見抜いて、ぴったりの四字熟語を与えてくれた日本人学校の事務長さんの審美眼がすごいです。

一言で言うと最高でした。本当にありがとうございました。最初の動画涙があふれました。涙が出たのは、昨年度教務と担任の激務で仕事が終わらず、4月2日ようやく教室の片付けが出来始めた頃、荷物を整理したり教室を掃除機かけたりして、空っぽで美しくなっていく教室になっていくにつれて、じわじわ「もうここには入れないな」と感じてきた時以来です。その時の涙は寂しく悲しいものでしたが、今日の涙は心が温かくぽかぽかするものでした。でもうれしかったです。なぜならちゃんと心が動いていると感じたから。ちゃんと自分の体に温かいものを持っていると感じたから。心を伝えるやっぱり大切ですね。先生ほどではないですが僕も心をオープンにするのが大好きです。

あつという間の90分でした。私も「自分の経験からしか子どもたちに伝えられることはない」と思いながら教員をやっています。まだ9年しか教諭をやっていませんがこの気持ちを忘れずに教員を続けていきたいと思っています。自己開示を自分も大切にしてきたところです。子どもたちとのコミュニケーションを大事にして、その子の人生の一部に「印象に残る先生」になっていきたいです。

先生の熱さ伝わりました地域に関っていくことの大切さを学びました。ありがとうございました。

学校のことをよく考えて行動することが大切であることがわかりました。同じ学校に長期間勤めているが良い時と悩みが多いときもありました。その時々に対応できるようにしなければならないと思いました。毎年人が変わっても「よい文化」が残るようにしなければならないと思いました。

現在市原で10年教員をしていますが、始まりは市川での5年間でした。いろいろな情熱を持って働いていたあの頃の5年間を思い出せました。最近初めての卒業生たちが連絡をくれて、懐かしい話をしました。自分をひらき・つなぐことが数年経って思い出されることがあることを実感しました。

自分が触れ合ってきた子どもたちを思い出しました。その子たちから教わったことで教員の自分が成り立っています。松井先生の話す姿からもそういった数々の出会いを感じることができました。教材への向き合い方もバイタリティが桁違いだなと思いました。熱さをありがとうございました。